

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	産業団地管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	工業課		包含する細々目	1	7	1	5	12	5	2,923	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	12 人材育成と企業、人材誘導												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等								
		事業期間	12	年度～		年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	既存工業団地	団地箇所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	4
			3			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	魅力ある工業団地の維持管理	団地箇所	18目標	最終目標		
			18実績	3	19目標	3
			23目標	4	23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	産業団地の維持管理 (従前の工業振興一般経費から立地に 関わる部分を分離)	18年度の実績 ・産業団地整備工事(一本平団地内排水路整備) ・産業団地整備工事(危険箇所除草・高木伐採) ・産業団地周辺水質調査(毎月天竜川上流事務所へ報告)	整備延長 箇所数 水質検査回数	54m 4箇所 12回
	19年度計画 ・産業団地整備工事(一本平団地内法面排水路整備) ・産業団地整備工事(危険箇所除草・高木伐採) ・産業団地周辺水質調査(毎月天竜川上流事務所へ報告) ・環境産業公園パンフレット印刷 ・太陽光発電外灯の修繕	整備延長 箇所数 水質検査回数 印刷部数 修繕灯数	22m 3箇所 12回 5000部 2灯	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	3,342	2,923
	事業費計(A)	3,342	2,923
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	3,342	2,923

特定財源内訳 や補足 事項	
---------------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	経済自立度(%)	現状値	45.4	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
	製造品出荷額(億円)		現状値	3700	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	4070	

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>・天竜川治水対策事業龍江地区の土取り場(番入寺インダストリアルパーク)を平成9年4月分譲開始から、平成14年川路・竜丘地区の治水対策事業完成により、その土取り場であった桐林環境産業公園、一本平産業団地の計3箇所を飯田市の産業団地として良好な環境で維持管理していくことが必要となった。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>・従来の単なる工業団地では、地域住民の理解が得られにくく、景観及び環境配慮型の産業団地が求められている。</p> <p>・また、企業の地球環境への取り組みが通常に行われ、環境への取り組みも盛んになってきた。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>・雑木林と一体に全体の景観や雰囲気にも趣向を凝らし、住民にも親しまれる魅力ある産業団地への期待が大きい。</p>
--	---	--

**【See】18年度の振り返り**

目的妥当性評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由)</p> <p>企業のイメージアップに繋がり、パワーアップにつながる。</p>	有効性評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <b>余地がない</b> (その理由)</p> <p>団地内企業と市の協働で年2~3回の草刈り作業を開催し、団地内企業独自でも環境美化の活動をされ、環境は良好に保たれている。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>市で所有する産業団地を対象にしており、特に変更の必要はない。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由)</p> <p>産業団地の安全性が損なわれる恐れがあるため必要である。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>安全で魅力有る工業団地を維持することは、立地企業のみならず、地域にとっても必要である。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <b>統合不可能</b> (類似事業名、理由)</p> <p>飯田市建設部土木課での維持工事があるが、産業団地内の企業と協働でできる維持は行っており、統合しない方が有利である。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由)</p> <p>維持管理する範囲は、市有財産の団地内企業の方々では危険な作業、公共の街灯補修であるため、市の関与は必要である。</p>		<p>効率性評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由)</p> <p>産業団地内の公共部分に限定された維持管理で、地元・団地内企業との調整を図りながら進めるため、今後団地数が増えれば、増大する。</p>
			公平性評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由)</p> <p>受益者は団地内企業及び市道を使う市民であり妥当である。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具 体 化</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p>
---	-----------------------------

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	